

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は、幼少から高専を卒業するまでの20年間を函館市で過ごしておりました。その後、大学生活を室蘭市で過ごし、現在の職場である開発工営社に就職してからは札幌市と、徐々に北上？する生活を続けながら現在に至っております。函館は、皆さんもご存じのように海産物が美味しく、特に旬(夏)の時期の“活いか刺”は食感といい、味といい格別なものがあります。旅行や出張などで函館へいらした際は、是非ご賞味下さい。

私は、開発工営社へ入社してから現在に至るまで、土質に関する調査・軟弱地盤解析などの業務に従事しておりますが、“土質工学は経験工学”と言われるように、土質の不均一性や機構の複雑さから理論通りに事が運ばずに頭を悩ませることもしばしばあります。その度に経験豊富な先輩技術士の力を借りながら、自身の知識と経験値を少しずつ高め、理論と経験の狭間にあるギャップを埋める日々を送っております。

技術士資格は、1次試験を合格するまでに長い間苦労しましたが、平成21年度に合格することができ、翌年の2次試験で晴れて取得することができました。しかし、取得したことによって、これまでは自身の技術力を上げることに邁進していたものが、今後は社会的責任(公益確保)を念頭に置いて携わっていかねばならないことに、少々ながらプレッシャーも感じております。しかし、一人の技術士として、我々の携わる業務一つ一つが地域社会の発展に貢献しているということにやりがいを感じ、日々勉強という姿勢を忘れずに自己研鑽に励んで行きたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

高橋 慶行 (たかはし よしゆき)

●建設部門 (土質及び基礎)

勤務先

株式会社 開発工営社
共通事業本部 地質部

E-mail : y.takahashi@kai-koei.co.jp



→ 次号は、熊倉 聡さん(応用理学部門)

私は1973年に函館で生まれ、そこで高校まで過ごした後、網走の大学を経て、現在の釧路の職場に就職しました。小さな頃から「生き物」が大好きで、野山で見つけた生き物は、たいてい家に持ち帰り飼育(試育?)していました。ただ、飼い方が乱暴だったため、カエルがベランダ越しに隣の家まで逃げ出したり、夜中にクワガタが部屋を飛び回るようなことが何度もありました。自然を満喫していた大学4年の頃、「自然や環境を調査する」職種があることを知り、現在の会社に就職しました。入社後、「環境調査」の対象が、水質、土壌、大気、騒音・振動そして生物等と多岐に渡ることを知りました。「建設コンサルタント」の意味も分からずに入社した私にとって、最初の1年は目的を理解せず、作業に明け暮れる毎日でした。その後、土木の知識、施工目的、調査目的への理解が徐々に深まるにつれ、自然環境に配慮した工法やビオトープ等への関心が強くなりました。そして、「生き物好き」を業務に活かし、この分野を専門としていくには、私の場合、技術士の取得が必要との考えに到りました。本格的な勉強を始める前までは、自分が合格できるとは思っていませんでしたが、社内外の勉強会、多くの先輩からのアドバイスのお陰で、本年度合格することができました。これからは、建設と自然の「橋渡し」ができるような技術者を目指すとともに、物事を様々な観点から捉える広い眼を持てるよう、日々努力、研鑽していきたい。

川尻 洋志 (かわじり ひろし)

●建設部門(建設環境)

勤務先

太平洋総合コンサルタント(株)
環境科学部



→ 次号は、鈴木正裕さん(環境部門、建設部門)